

みんなとともに笑顔いっぱい - 「101」新たなるステージへ -



# みんなとともに



わからないものです。本来であれば、今日21日が東京オリンピックの開会式に先駆けて、あづま球場でソフトボールが行われる日でした。そして、23日が開会式。オリンピックは延期になりましたが、連休は残りました。4連休後は、さらに2週間の1学期が続きます。「未知なる世界」と表現しますが、暑い最中の学校生活は誰もが初めての経験です。健康面に十分留意して進めていきます。



## 「未知なる世界」へ入りました - 熱中症予防が必須です -

従来の「夏休み」期間に入ります。気をつけなければいけない一番のことは「熱中症」です。昨年も一昨年も、とても暑い夏でした。「暑さ指数」を指標に、活動の中止等を判断していきますが、特に「登下校時の暑さ対策」については、ご家庭の協力もお願いします。

### 「暑さ指数」とは

熱中症を予防することを目的として、人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標。人体の熱収支に与える影響の大きい「①湿度 ②日射・輻射など周辺の熱環境 ③気温」の3つを取り入れた指標である。日常生活には、「注意」「警戒」「厳重注意」「危険」の段階がある。環境省「熱中症予防情報サイト」で調べることができる。



### 「ミニ情報」

- ① 体育館外の西側にある温度計は「暑さ指数」を測ることができる。その数値をもとに「運動の可否」を判断することになる。
  - ② 「水分を摂ると30分はその効果が持続する」と養護教諭から聞いた。下校前の学校での水分補給が大切である。
  - ③ 「熱中症予報」の掲示が校内3箇所にある。
- ※ 登下校時は「帽子」を必ず着用させたい。

◇「校長のつぶやき」2題 ～ よかったら、お読みください～

### 【校長のつぶやき】 その36 「どうせ自分なんて」

「どうせぼくなんて」「どうせわたしなんて」という言葉が、子どもの口から聞かれたら、それは「黄色信号」である。「自己肯定感」が著しく低下していて、「自分という存在」を受容できない状態になっている。言い換えると、「心のエネルギー」が「枯渇」気味になっている。

こんなときに、私たちは、「そんなことないよ」と否定してみたり、「こんないいところがあるよ」と持ち上げてみたりするのだが、「そんなウソばかり言って」などと言われるのがオチである。「閉ざした心」には「言葉」はうまく届かない。

では、こんな方法はどうか。それは「子どもが生まれたときの写真を一緒に見る」という方法だ。親は誰もが子どもが生まれた瞬間は「喜び」に満ちていたはずである。その「喜び」を、素直な気持ちで伝える。ただ、それだけである。その「幸せな空間」は、子どもの「心のエネルギー」を満たしていくはずである。

「愛」は「条件付き」であってはならない。「無条件」の「愛」に包まれている子どもは、「心のエネルギー」が満ち、「ポジティブ」である。「子どもが生まれたときの写真」は、親にも「無条件の愛」に満ちていた、あの「幸せな瞬間」を思い起こさせてくれるかもしれない。

### 【校長のつぶやき】 その37 「リーダーシップ」

先週の全校集会(放送)で「リーダーシップ」の話をした。本校不変の教育目標は「みんなとともに 笑顔いっぱい」だが、新たに「自分をみがき、成長し続ける子どもの育成」を掲げている。このことを「「リーダーシップ」のある子になるのだよ」と説明した。

こんな話で恐縮だが、子どもの目の前には無数の「パラレルな未来」が存在している、としよう。様々な「外的な要因」の影響は受けるが、どの未来を選ぶかは「本人の選択」である。そして、選ばなかった未来には残念ながら進むことはできない。いくら「外的な要因」のせいにして、「選んだ未来」である「いま・ここ」しかない。ならば、「外的な要因」すら受けとめて、「いま・ここ」で「リーダーシップ」を発揮して、「主体的に自分の未来を選択できる子ども」に育てたい。

全校集会の次の日の朝、あいさつをする子どもたちの声に「変化の兆し」を感じた。活動日ではないが、朝の掃除に励む子どもの姿も見られた。誰も「校長の話」をほめてはくれないので、「子どもの心に届いたのかもしれない」と勝手に都合のよい方に解釈して、「自画自賛」をしている。